

ヘルス 授業科目：プロモーション★	講師名： 島田 亜子 大本 奈美 真辺 恵子 看護師・保健師 健康センター 保健師	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 Ⅰ年生前期
【科目目標】 1. ヘルスプロモーションの考えや個人、家族、集団、地域の活動方法について学ぶ。 2. ライフステージにおけるヘルスプロモーション看護支援の必要性と方法を考動する。		
回数	講義内容	学習方法
1	第1章 人々の生活と健康	講義
2	1. WHOの活動(プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション) 2. 日本におけるヘルスプロモーションと健康政策(健康日本21)	講義
3		講義
4	ヘルスプロモーション活動と看護職の役割について	講義
5	生活の場(家庭・学校・職場・病院・地域)におけるヘルスプロモーションについて	講義
6	健康行動とヘルスリテラシー 健康行動に必要な理論(健康信念モデル、エンパワメント)	講義
7		
8	【各ライフステージにおけるヘルスプロモーション】 成人健康課題とヘルスプロモーション (生活習慣病・がん・職業性疾病・過労死・うつ病・アルコール依存症)	講義
9		
10	【各ライフステージにおけるヘルスプロモーション】 高齢者を取り巻く社会の現状と課題 高齢者の社会参加と自立	講義
11		
12	【各ライフステージにおけるヘルスプロモーション】 小児保健(小児をとりまく社会環境、予防接種、健診、育児相談、虐待)	講義
13		
14	【各ライフステージにおけるヘルスプロモーション】 女性のヘルスプロモーション:リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 母性保健活動	講義
15	終講試験	講義
【教科書】 新体系看護学全書 別冊 ヘルスプロモーション メヂカルフレンド社 国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目	クリティカルケア I ★	講師名:	今中 秀光 中田 徹朗 江里口 晃 世 満田 幸士 増田 純子 西川 直徹 医師・看護	単位	30	時間	履修時期	1年生後期
------	--------------	------	--	----	----	----	------	-------

【科目目標】

1 健康状態の急激な変化による様々な反応を起こしている対象の身体的、心理的、社会的反応を理解し、諸理論を活用しながら生命の維持・回復のための支援を考動する。

回数	講義内容	学習方法
1	救急医療の特徴と対象と看護	講義
2	集中治療の特徴と対象と看護	講義
3	クリティカルケアの実際(救急患者に対するアセスメント)	講義
4	クリティカルケア看護の基盤となる理論(危機理論:アギュララとメズイックの危機モデル、ボディイメージの変容)	講義
5	クリティカルケアに必要な看護に必要な看護技術(BLS)	演習
6	クリティカルな患者の病態の理解と看護 I (気胸のある対象の急性増悪期の看護) 事例演習:呼吸困難	講義
7		演習
8		演習
9	↓	講義
10	クリティカルな患者の病態の理解と看護 II (心筋梗塞のある対象の臨床判断) 事例演習:胸痛	講義
11		講義
12		演習
13		演習
14	↓	講義
15	終講試験	

【教科書】

系統別看護学講座 クリティカルケア看護学 医学書院  
 成人看護学[1]成人看護学総論 医学書院  
 系統看護学講座 成人看護学[2]呼吸器 医学書院  
 系統看護学講座 成人看護学[3]循環器 医学書院

【参考書】

【使用予定視聴覚機材】

PC.プロジェクター

【評価方法】

筆記試験:100点

授業科目:クリティカルケアⅡ★	講師名:江里口 晃世 尾田 尚子 岩本 繁行 島田 亜子 大本 奈美 塚本 由利子 看護師	Ⅰ 単位 30 時間	履修時期	2年生通年
【科目目標】 手術を受ける対象を周手術期の視点で包括的に理解し、侵襲を最小限にとどめ回復促進のための支援を考動する。				
回数	講義内容	学習方法		
1	手術療法と生体反応	講義		
2	周手術期にある対象と家族の特徴(成人・高齢期)	講義		
3	術前の看護(意思決定支援、手術に向けた準備、手術当日の看護) :胃切除を受ける患者の事例提示	講義		
4	術中の看護(手術室の環境、安全管理、麻酔時の看護)	講義		
5		講義		
6		講義		
7	術後の看護 (術後の呼吸と循環、術後観察とアセスメント、術後合併症と看護、創傷治癒過程、ドレーン類挿入部の処置、苦痛緩和のための支援、術後せん妄)	講義		
8		講義		
9		演習		
10		演習		
11	緊急事態に対処する 自殺企図、自殺を防ぐケア	講義		
12	周産期におけるクリティカルケア	講義		
13	子どもと家族へのクリティカルケア	講義		
14	在宅療養者の生活とリスクマネジメントについて	講義		
15	終講試験			
【教科書】 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院 系統看護学講座 成人看護学[5]消化器 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 医学書院				
【参考書】				
【使用予定視聴覚機材】  PC.プロジェクター				
【評価方法】 筆記試験:100点				

授業科目：セルフマネジメントⅠ★	講師名： 塚本 由利子 岸本夕貴 田中 志保 田原 紀子 佐々木 美世子 看護師	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 2年生通年
------------------	--	-----------------------

【科目目標】

1. 病気の慢性状況の特性を踏まえ、その中でその人らしく生活することを支える意味と方法を考動する
2. セルフマネジメント支援において必要な能力と責任を理解する。

回数	講義内容	学習方法
1	慢性性(クロニシティ)とは何か 慢性疾患を抱える人と医療・看護のあり方 生きる方策の発見を支援すること	講義
2	慢性期にある対象のある理解(身体、心理、社会)	講義
3	セルフマネジメント支援のための基礎理論(成人学習理論、自己効力、エンパワメント)	講義
4	内分泌代謝障害のある対象の看護 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症のある患者の看護(生活指導を含む) 糖尿病のある患者の看護	講義
5		講義
6		講義
7		講義
8	透析療法を行いながら生活する対象への看護	講義/演習
9		
10		
11	血液造血器障害のある対象の看護	講義
12		
13		
14		
15	終講試験	

【教科書】

新体系看護学全書 経過別成人看護学③慢性期看護 メヂカルフレンド社  
 系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院  
 系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院  
 系統看護学講座 成人看護学[4]血液・造血器 医学書院

【参考書】

【使用予定視聴覚機材】

PC.プロジェクター

【評価方法】

筆記試験:100点

授業科目：セルフマネジメントⅡ★	講師名： 真辺 恵子 高石 明子 島田 亜子 新居 麻美子 南田 理恵 岩本 繁行 看護師	Ⅰ 単位 30時間 履修時期2年生後期
------------------	---	---------------------

【科目目標】

1. 病気の慢性状況の特性を踏まえ、その中でその人らしく生活することを支える意味と方法を考動する
2. セルフマネジメントにおける看護の実際を理解する。

回数	講義内容	学習方法
1	腎泌尿器障害のある対象の看護	講義
2		講義
3		演習
4		演習
5	高齢期にある対象の健康課題とセルフマネジメント 認知症のある高齢者の生活継続支援	講義
6		講義
7	褥瘡管理・ストマ管理	講義/演習
8		講義/演習
9	子どもの健康課題とセルフマネジメント	講義
10	周産期の健康教育と保健指導Ⅰ	講義/演習
11	周産期の健康教育と保健指導Ⅱ	講義/演習
12	周産期の健康教育と保健指導Ⅲ	講義/演習
13	精神障害のある対象への回復支援	講義
14	在宅療養への移行に向けた支援	講義
15	終講試験	

【教科書】

新体系看護学全書 経過別成人看護学③慢性期看護 メヂカルフレンド社  
 系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院  
 系統看護学講座 母性看護学[1]母性看護学概論 医学書院  
 系統別看護学講座 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書  
 系統別看護学講座 地域在宅看護論[1][2] 地域・在宅看護の基盤・実践 医学書院

【参考書】

【使用予定視聴覚機材】

PC.プロジェクター

【評価方法】

筆記試験:筆記試験(75点) + レポート(25点) = 100点

授業科目:リハビリテーション看護Ⅰ★	講師名: 大本 奈美 肥田 光正 坂本 ゆき 島末 瞳 看護師 理学療法士	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 2年生通年
【科目目標】 リハビリテーション看護の概念を理解し、その看護を考動する		
回数	講義内容	学習方法
1	リハビリテーション看護とは リハビリテーション看護を必要とする人	講義/演習
2	リハビリテーション医療とチームアプローチ	講義/演習
3	リハビリテーション領域における基本理論	講義/演習
4	自己概念の変容、障害受容(フィンク、コーン)レジリエンス、セルフケア	講義/演習
5	リハビリテーション看護の基本的な方法 運動器系障害とリハビリテーション看護 運動器系疾患の動向、運動器の構造機能	講義/演習
6	運動器系疾患の症状と看護 以下の視点を持って教育内容を整理 1. 息をする、2. 話す聞く、3. 食べる・飲む、4. 排泄する、5. 活動・休息、6. 見る・聞く、7. 記憶する、身だしなみを整える	講義/演習
7	疾患と看護:骨折・関節リウマチ	講義/演習
8	運動器系疾患をもつ対象の看護に必要な看護技術	講義/演習
9	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 脳の機能とはたらき、脳の血管系、脳の保護機能、脳脊髄循環	講義/演習
10	意識障害のある患者の看護、脳神経疾患の症状とその病態生理	講義/演習
11	脳神経疾患の症状とその看護	講義/演習
12	疾患と看護:脳卒中	講義/演習
13	疾患と看護:外傷、脳腫瘍	講義/演習
14	中枢神経系疾患の看護に必要な看護技術 意識レベル 感覚器のフィジカルアセスメント	講義/演習
15	終講試験	
【教科書】 系統別看護 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護[7]脳・神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護[10]運動 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目：リハビリテーション看護Ⅱ★	島田 亜子 間島 菜穂 土橋 智晴 真田 令未 講師名：岩本 繁行 北 卓也 肥田 光正 看護師 理学療法士	1 単位 20 時間 履修時期 2年生通年
【科目目標】 対象の特徴に応じたリハビリテーション看護、在宅におけるリハビリテーション看護を考動する		
回数	講義内容	学習方法
1	1. 成長発達からみたリハビリテーション看護	講義/演習
2	1) 小児期 発達障害と看護	
3	2) 成人期 中途障害とは	
4	3) 高齢期におけるリハビリテーション看護 (1) ADLの評価 (2) 廃用症候群予防のための看護	
5	(3) 「摂食・嚥下の正常メカニズムと加齢に伴う変調」 摂食・嚥下のメカニズムについて 摂食・嚥下リハビリテーションについて	
6	2. 精神障害者の回復を支援する(第9章)	講義
7	3. 在宅リハビリテーションと看護	講義/演習
8	在宅リハビリテーションとは 看護の場の継続	
9	看護の実際	
10	終講試験	
【教科書】 系統別看護 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 小児看護学[1][2] 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 精神看護学[1][2] 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1][2] 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC. プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験：100点		

授業科目:エンドオブライフケア★	講師名: 岡山 幸子 日吉 理恵 上垣 尚美 島田 亜子 看護師	2 単位 44 時間	履修時期	3年生通年
【科目目標】 終末期を生きることの意味と支援を考動する				
回数	講義内容			学習方法
1	第1章 I 死の理解 II 終末期と終末医療の理解 第2章 患者・家族の理解			講義
2	第3章終末期医療と看護の理解(医療の目的と場の特性、多職種連携と看護の役割)			講義
3	終末期にある 対象の看護	グリーフケア・ビリーブメントケア		講義/演習
4				講義/演習
5		病院から在宅に移行するおとな(壮年期)への退院支援		講義/演習
6				講義/演習
7		おとなの看取り、臨死期のケア(家族へのケアの配慮、鎮静について) 「看取りの場面の対応」事例検討		講義/演習
8				講義/演習
9		子どもと家族の死の捉え方と終末期の特徴		講義/演習
10		在宅で療養中の慢性疾患の高齢者への看護		講義/演習
11				講義/演習
12		自宅で死を迎えることの意味 在宅における看取りの看護		講義/演習
13				講義/演習
14		臨死期のケア(家族へのケアの配慮、鎮静について) 「看取りの場面の対応」事例検討		講義/演習
15		エンゼルケア		講義/演習
16		エンゼルケア	エンゼルメイクの実践	演習
17	緩和ケア	緩和ケアとは		講義/演習
18		「全人的苦痛」について		講義/演習
19		「喪失・悲嘆・死別」について		講義/演習
20		緩和ケアにおける看護師に求められる役割(身体的ケア・精神的ケア)		講義/演習
21		緩和ケアにおける看護師に求められる役割(社会的ケア・スピリチュアルケア)ACP		講義/演習
22	終講試験			
【教科書】 新体系看護学講座 経過別成人看護学④終末期看護:エンド・オブ・ライフ・ケア メヂカルフレンド社 系統別看護学講座 地域・在宅看護論[1][2] 医学書院				
【参考書】				
【使用予定視聴覚機材】				
【評価方法】  筆記試験:160点 ÷ 1.6 =100点				

授業科目: クリティカルケアの練習演習★	真辺 恵子 講師名 江里口 晃世 看護師	1 単位 30 時間	履修時期	2年生通年
----------------------	----------------------------	------------	------	-------

- 【科目目標】
1. 呼吸器疾患でクリティカルな状態にある対象の看護を考え実践することができる。
  2. 周手術期のクリティカルな状態にある対象の看護を考え、実践することができる。(臨床判断)
    - 1) 既習の知識を統合し、対象の状態の変化に気づくことができる。
    - 2) 対象の状況を適切に判断することができる。
    - 3) 状況に応じた看護実践を考え実践することができる。

呼吸器疾患 (COPD)のある対象の看護【14時間】

回数	講義内容	
1	クリティカルⅡでの学習内容を事前学習しておく。 プレテスト 事例紹介(呼吸器疾患(COPD)のある対象の看護について)	講義
2	事例の対象の理解	講義
3	事例の対象の健康障害の理解、情報の分析・解釈	講義
4	看護の統合、看護問題抽出	講義
5	看護計画立案	講義
6	シミュレーション(COPDの対象を事例に演習:臨床判断)	演習
7		演習
8	終講試験	

周手術期の対象の看護【16時間】

回数	講義内容	学習方法
1	クリティカルⅡでの学習内容を事前学習しておく。 プレテスト 事例紹介(胃がんにて幽門側胃切除術を受ける対象の看護について・事例持参) 術後ベッドの作成	講義
2	シミュレーション(術後帰室時の必要な観察方法、異常が見られたら?)	演習
3		演習
4		演習
5	シミュレーション(術後1日目離床時の必要な観察方法、異常が見られたら?)	演習
6		演習
7	シミュレーション(術後3日目以降の必要な観察方法、異常が見られたら?)	演習
8		講義

【教科書】

系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院  
 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院  
 系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器 医学書院

【評価方法】

呼吸器(50点)+周手術期(50点)=100点

セルフマネジメント・ 授業科目：リハビリテーション 看護の錬磨演習★		講師名： 堀内吉美 島田亜子 看護師	I 単位 30 時間 履修時期 2年生通年
【単元目標】 回復期にある対象の看護を考え実践することができる			
回数	講義内容	学習方法	
1	糖尿病のある対象の看護過程(情報整理)	講義・GW	
2	糖尿病のある対象の看護過程(アセスメント I 作成)	講義・GW	
3	糖尿病のある対象の看護過程(関連図作成)	講義・GW	
4	糖尿病のある対象の看護過程(問題リスト・優先順位の判断)	講義・GW	
5	糖尿病のある対象の看護過程(看護計画立案)	講義・GW	
6	糖尿病のある対象の看護過程(看護計画の実施)生活指導の実際	演習	
7	//	演習	
8	糖尿病のある対象の看護過程(看護計画の評価)	講義・GW	
9	運動障碍とは	講義	
10	運動障碍のある患者の看護	講義	
11	運動障碍のある対象の看護過程(アセスメント)	講義・GW	
12	運動障碍のある対象の看護過程(関連図、計画)	講義・GW	
13	運動障碍のある対象の看護の実際	演習	
14			
15	運動障碍のある対象の看護過程(看護計画の評価)	講義・GW	
【教科書】 必要なものすべて 系統看護学講座 成人看護学〔6〕内分泌・代謝 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC, プロジェクター			
【評価方法】 演習課題 {内分泌レポート(50点)+運動器レポート(50点)}=100点			

授業科目:領域別看護の錬磨演習★	講師名:島田 亜子 真辺 恵子 大本 奈美 加納 里美 看護師・助産師	2 単位 44 時間 履修時期 2年生通年
【科目目標】 1. こどもの看護を考え実践することができる 2. 母性の看護を考え実践することができる 3. 高齢者の看護を考え実践することができる 4. こころの看護を考え実践することができる 5. 在宅における看護を考え実践することができる		
子どもの看護		
回数	講義内容	学習方法
1	小児看護の視点 アセスメント	講義
2	ペーパーペイシエントによる事例展開 関連図 看護計画	演習
3.4	シミュレーション	演習
5.6	シミュレーション	演習
母性の看護		
回数	講義内容	学習方法
1	母性看護における対象把握、母性看護の視点	講義
2	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
3	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
4	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
高齢者の看護		
回数	講義内容	学習方法
1	高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方(目標志向型思考への展開)	講義
2	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
3	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
4	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
こころの看護		
回数	講義内容	学習方法
1	オリエンテーション・患者情報・アセスメントシート ICF関連図・プロブレムリスト・看護計画・SOAPなど記録の説明	演習
2	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習
3	ペーパーペイシエントによる看護展開 (グループワーク)	演習

4	ペーパーペイシエントによる看護展開（グループワーク）	講義・GW
在宅における看護		
回数	講義内容	学習方法
1	病院から在宅に移行する療養者事例での看護過程展開（在宅酸素療法） 在宅看護の視点、つよみと弱みを見極める、情報整理の視点	講義・GW
2	総合関連図の考え方に基づいた関連図作成	講義・GW
3	総合関連図の考え方に基づいた関連図作成② 問題リスト作成（優先順位の判断）	講義・GW
4	看護計画立案	講義・GW
【教科書】		
必要なもの全て		
【参考書】		
その他資料		
【使用予定視聴覚機材】		
PC、プロジェクター		
【評価方法】		
演習課題（小児・母性・高齢者・こころ・在宅）×20点＝100点 出席状況・授業態度など考慮して判断する		